

# 『瓶ヶ森の河童』を観に来る子どもたちはいいなァ

婆っば 大河原もと子

葉をもらって帰ってくる小六は、夜の森へ行く前の小六とは違う。ゲンゴロウのために勇気を出して、こわさをのりこえ、森でどんな体験をしたのだろう？ 出かけていく時は子どもだったのに、とてもしっかりして、成長している。

客席の子どもたちは、小六と一緒に冒険をする。こわさをこらえて夜の森へ。河童と出会い、すもうをとり、河童のやさしい心と絶滅の危機を知り、美しいケエラズ沼へ行ったり、猪に乗って帰ってくる！

一晩中、小六の帰りを心配して待っているルミ子さんと婆っばは、こんなにドキドキするシーンを観れないのです!!

『瓶ヶ森の河童』を観に来る子どもたちはいいなァ……小六と一緒に冒険した子どもたちは河童のこと、自然のことを考えたりするんだらうなあ……

河童は人間より弱い。河童だけでなくどんな生きものも人間より弱い。人間は本当は弱いのにいろんなものを生み出して身につけて、相手の心が見えなくなった。人間以外の生きものはみんな、他の生きものの気持ちや心がよめるのではないだろうか。人間だけが相手の気持ちや心がわからないのかも……

舞台を一緒につくる人、応援してくれる人、観に来てくれる人、舞台は関わる人すべての思いと労力が結集した時間と空間。

その特別な時間と空間で、たくさん大切な方々と再会できました。

またこんな機会に関われるように（役者であろうが制作であろうが、観客であろうが）力を蓄えたいです。

